

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

福井県では以前は多く生息していたが、最近はめっきり少なくなった。北潟湖産 全長:約40cm

ヤツメウナギ科 カワヤツメ属 【標準全長】40cm

カワヤツメ

学名: *Lethenteron japonicum*

分布域

島根県・千葉県以北の本州と北海道に分布する。

生息域

河川ではアンモシーテスが中流域の泥の中に生息する。



カワヤツメの口。顎が無い。成魚。

体形は円筒形で細長い。背鰭は2基で尾鰭は四角い。眼の後方に鰓穴が7対ある。成魚は体色は緑がかった鉛色で第2背鰭の上部と尾鰭は黒い。アンモシーテス(幼生)期は河川中流域の泥の中に生息する。泥の中の有機物(デトリタス)を食べ、全長15~20cmで変態する。変体後に眼が現れ、若魚期は眼が著しく大きく体色は銀白色。その後海へ下る。海中生活では他魚に吸い付き血や体液を吸い成長する。海での生活は2~3年で、成熟すると産卵のため河川に遡上する。河川では成魚が2~3月頃に確認されるが、産卵生態などは不明。

水槽での飼育は、情報不足でよく分からない。近年は極めて少ない。

在来種

回遊魚

※ 正確には本種は魚類ではなく、無顎類と呼ばれる仲間。近年、激減した。理由は不明。近年、河川等でアンモシーテス(幼生)は、確認したことがない。本県での生息数は非常に少ない。希少種といえる。